

保護者・地域の皆様

豊明市立大宮小学校長 伴野正史

学校評価（自己評価）結果について

寒風の候、保護者・地域の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、2学期末に学校の重点努力目標に対するアンケートを実施しました。この調査は、学校運営の改善に生かすため、学校教育法施行規則に則り実施するものです。ご多忙のところ、ご協力ありがとうございました。結果をまとめましたのでご報告いたします。また、経年の変化の様子や皆様のご指摘を、今後の教育活動に生かしてまいりたいと考えておりますので、今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

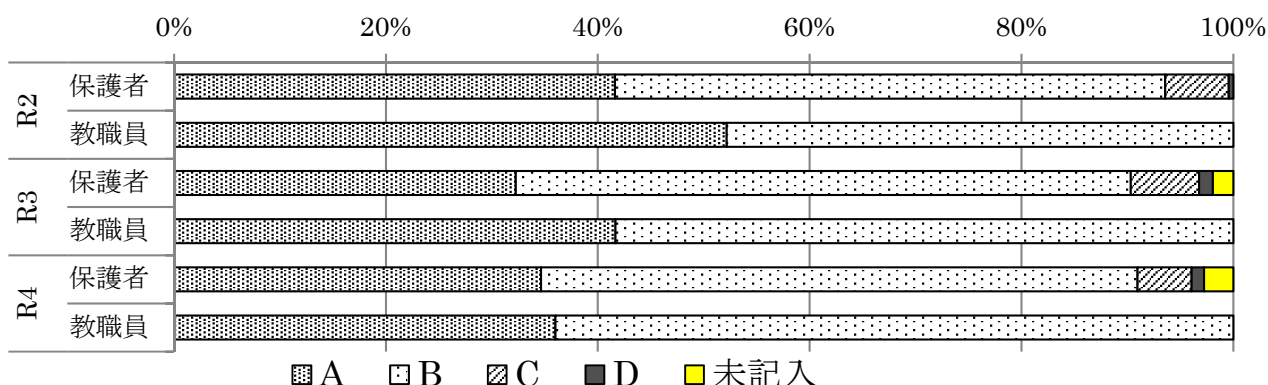
なお、児童は、対象を4年生以上として実施しました。

【評価基準】：右表

◎：今後の改善策

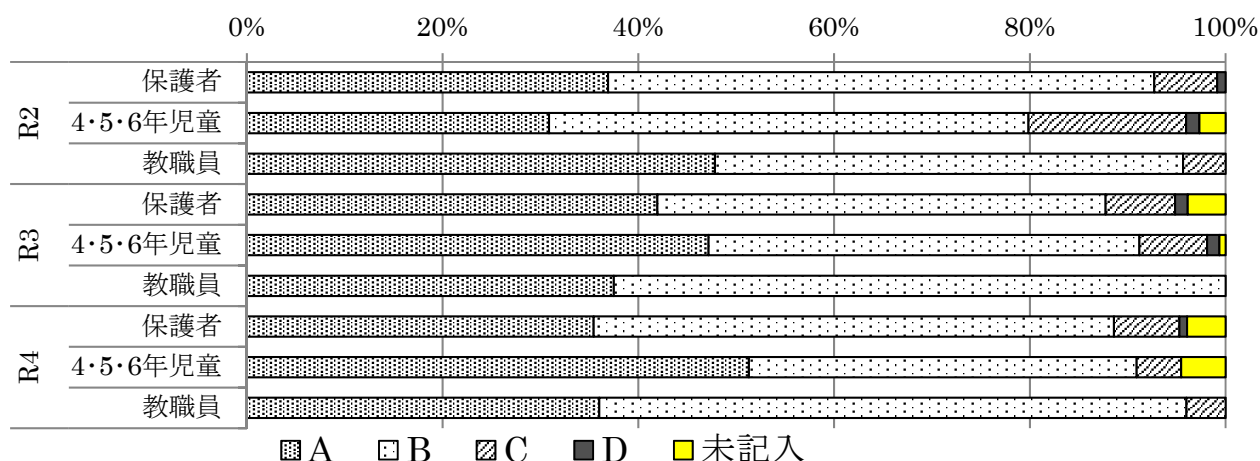
A	うまくできている	【よい】
B	どちらかというできている	【どちらかというよい】
C	どちらかというできていない	【どちらかというよくない】
D	うまくできていない	【よくない】

1 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている



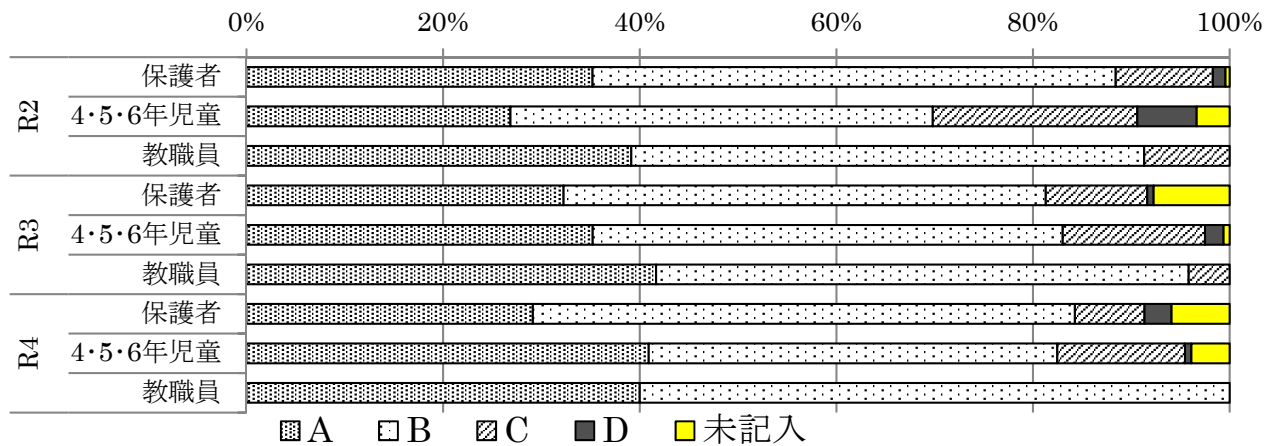
◎ 保護者評価の傾向がR3より高い傾向になりました。R3同様A・B合わせて90%を超えている点も評価できます。また、C・Dの合計もこの3年間で一番少ないです。ただ、教育方針は、学校の基本となるものですのでAとBで100%になるよう、様々な機会に分かりやすく伝える努力をしていきます。

2 学校は、基礎・基本の定着に力を入れている



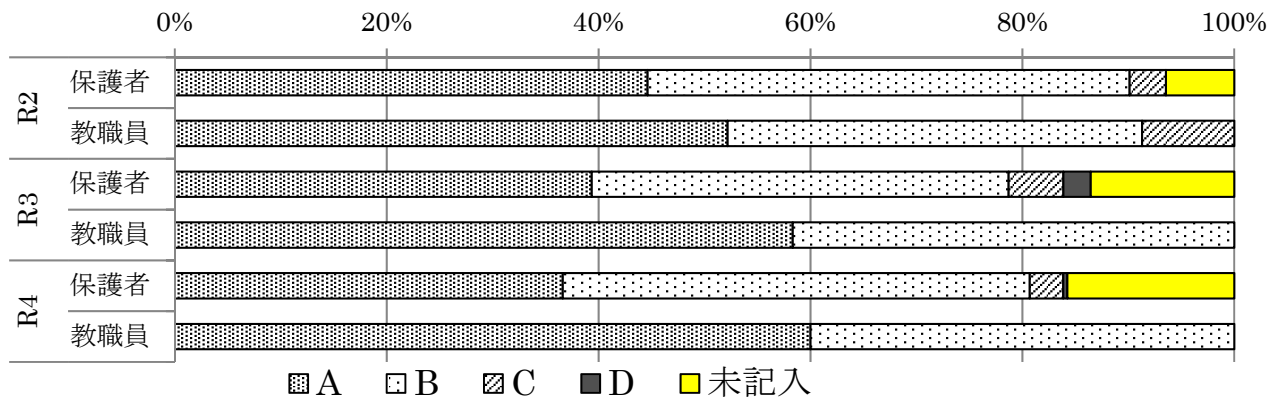
◎ 児童のAが過去3年間で最高値、CとDは最低値です。落ち着いて学習に取り組んでいる様子が見られますので、基礎・基本の定着により力を入れ、すべての児童が自信をもって学習を進めていけるよう、更に努力していきます。

3 学校は、表現能力を高める活動に力を入れている



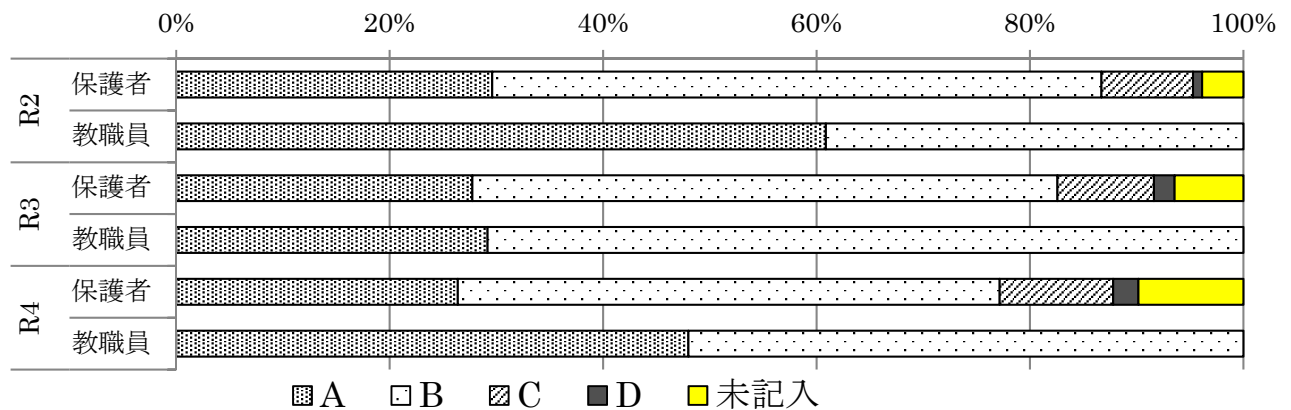
◎ 児童のAとBが過去3年間で最高値の昨年度とほぼ同じで、CとDは今年度が最低値です。大宮まつりでは、児童の自主的な活動を大切にしました。授業での発表活動も大切にしています。保護者のA・Bの合計も昨年度より増加しました。様々な活動で、表現する楽しさを味わわせながら、自信をもって発表する力を高めていくとともに、保護者に観ていただく機会を増やせればと考えています。

4 学校は、特別支援教育の充実に努めている



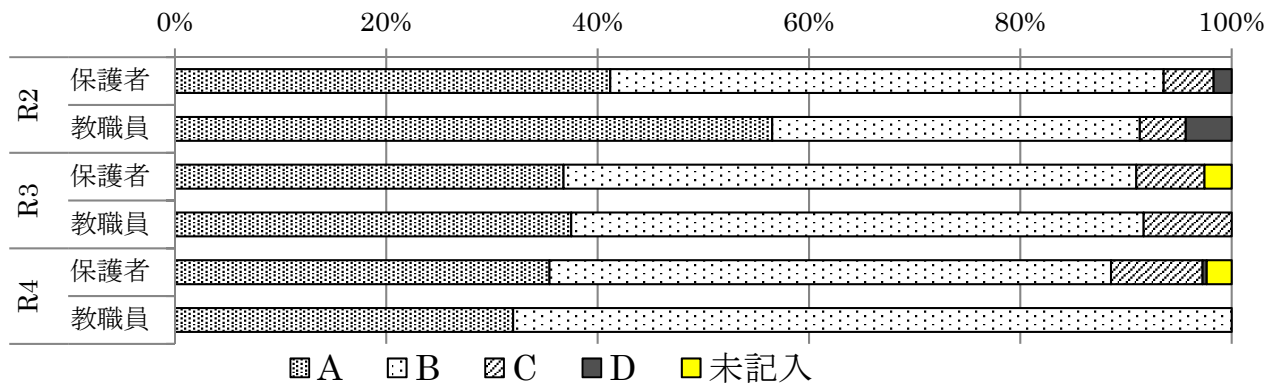
◎ 保護者のA・Bの合計が80%を超え、C・Dの合計はR2と同等になりました。今後も児童一人一人を大切に、個々の児童の特性に応じた支援の方法を工夫していきます。ただ、無回答が多くなっているので、特別支援教育の取組を周知する努力を増やしていきます。

5 学校は、いじめのない楽しい学校づくりに努めている



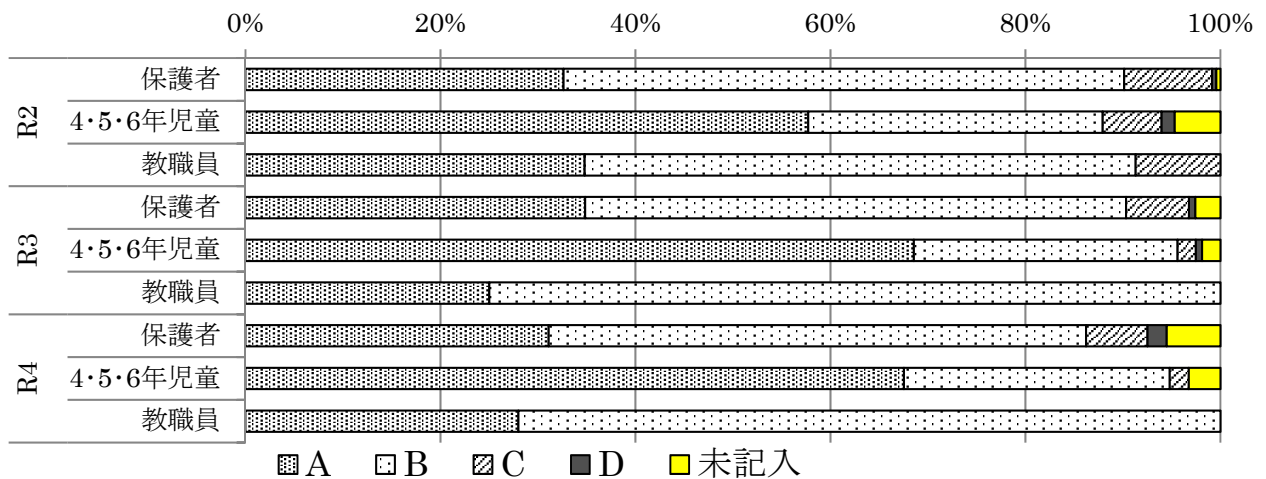
◎ 保護者のA・Bの割合が減り、C・Dの割合が増えています。基本的にC・Dは0%にするべきです。教職員と保護者のコミュニケーションを大切に、平素からの観察・情報収集・教育相談に努め、何かあれば早期解決の手立てを行い、全ての児童にとって、過ごしやすい学校を目指していきます。

6 学校は、子どもの安全や危機管理に十分配慮している



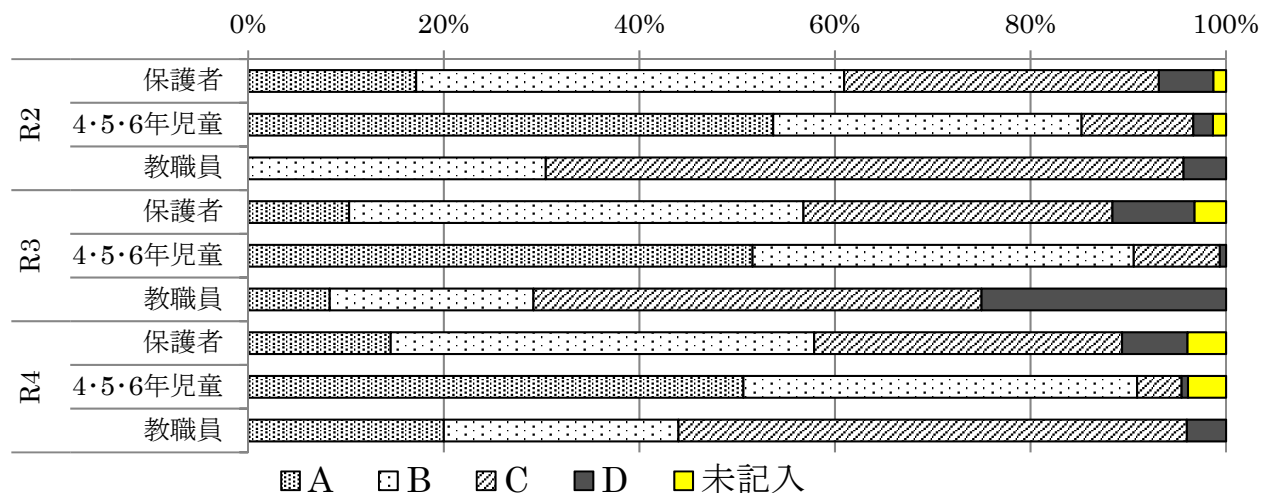
◎ 今年度も、新型コロナウイルス感染対策は昨年同様に進めました。児童も、朝の手洗い、給食時の黙食などががんばりました。また、本校ではPTAの皆様のご協力ですらに危険箇所を点検していただきました。現在のところ、学校生活、登下校でも、大きな事故はありません。今後も、安全に対する意識を高め、日頃からの危機管理意識の向上と児童への安全教育を進めていきます。

7 互いを認め合い、思いやる心が育っている



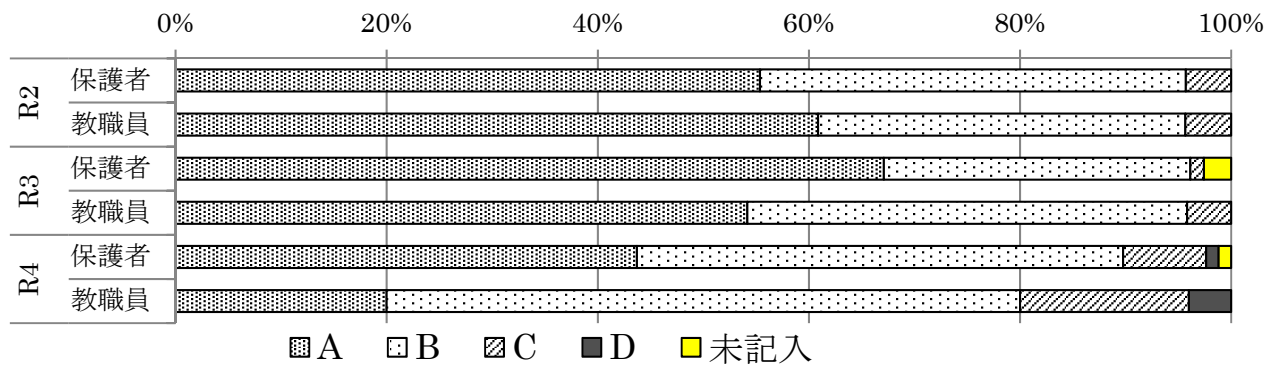
◎ 児童のA・Bの合計は昨年度とほぼ同様です。児童のC・Dの合計は年々減ってきています。本校の重点目標の「心の教育」を念頭に、教育相談活動や道徳の授業を大切に、共感的な指導を心がけています。今後も、さまざまな機会に、児童の自己肯定感を高め、他者を思いやる心を育てていく努力をし、C・D0%を目指していきます。

8 子どもたちは、登下校や行事等で挨拶をしている



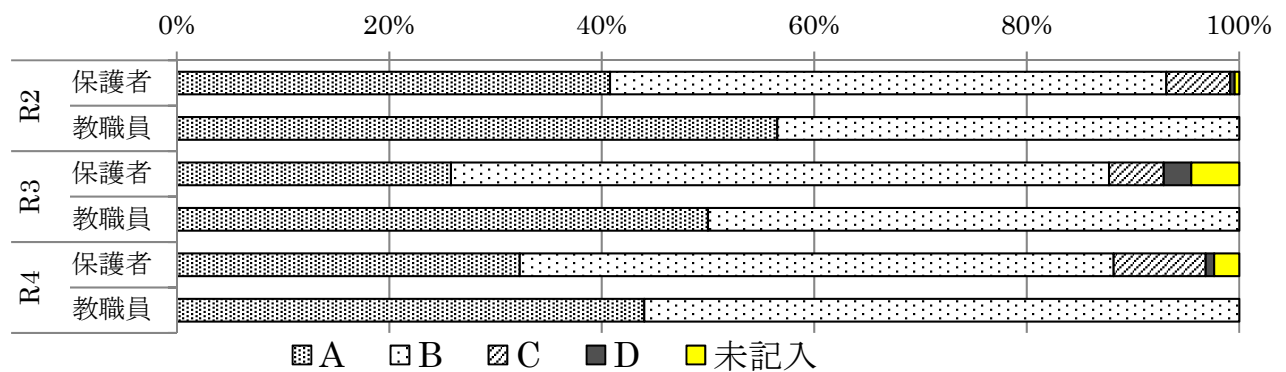
◎ 児童の意識と大人の見方に差があります。児童はしているつもりでも相手に伝わっていない、伝わる挨拶ができていないとも言えます。相手の心に届く挨拶が自然とできるよう、粘り強く取り組んでいきます。

9 栽培・飼育活動を通して豊かな感性が育っている



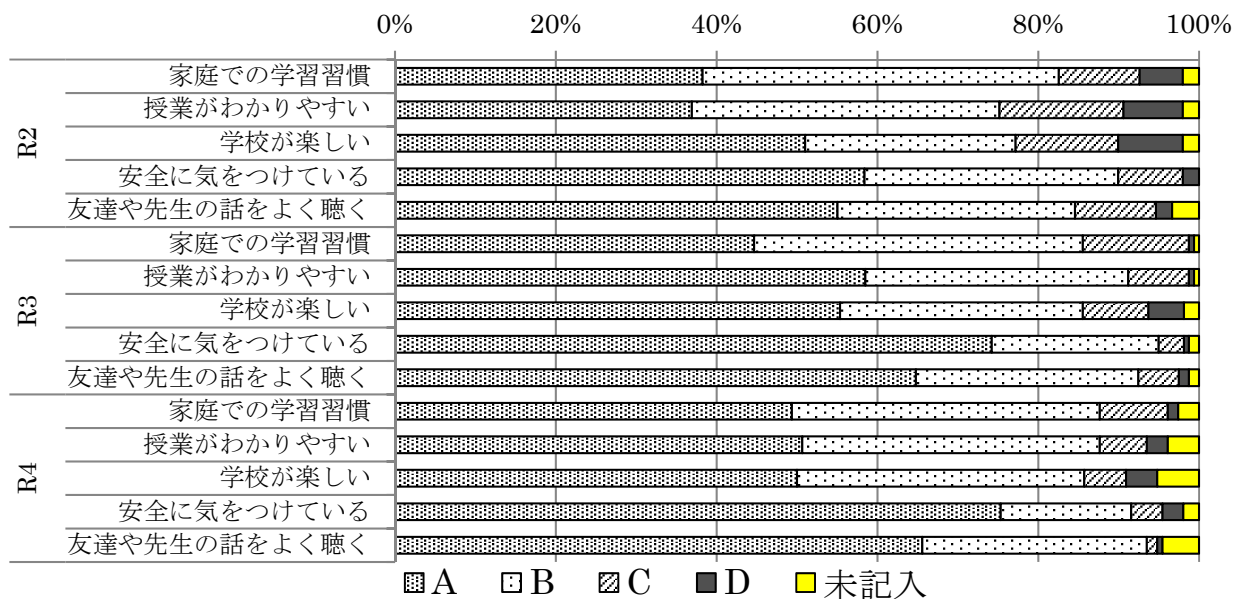
◎ 新校舎建設工事のため農園活動を縮小したため、教職員が「できなかった感」を大きくもっています。保護者の方も同様の思いのようです。次年度は可能な限り進めていきたいと考えています。その中で、栽培・飼育活動が、児童の豊かな感性の育成になるべくつながっていくように努めていきます。

10 学校、地域、家庭との連携が図られている



◎ 保護者のA・Bの合計はR3とほぼ同じです。Dが減ったことは、学校と家庭との連携についてご理解が進んだかと思っています。地域との連携・協働の大切さが叫ばれています。本校は伝統的に地域に支えられて教育活動を行ってきました。家庭と地域の方々との連携の仕方を常に考え、大切にしながら、地域社会全体で子どもの育ちを支えていきたいと考えています。

参考（児童の回答）



◎ ほぼ全ての項目で、最高値であった昨年度同様となっています。制限がある中でも、児童が学習に前向きに取り組み、学校を楽しんでいると感じ、授業に充実感を抱いて生活しているようです。ただ、コロナ禍の中で子どもたちも様々な思いがあったことと思います。A・Bの数値の伸び以上に、C・Dの児童に目を向け、一人一人の児童の気持ちに更に寄り添う指導を心がけていきます。